

## 第 92 回 東葛しぜん観察会

### 家紋にみられる植物

草野幸子（松戸市）

日 時：2013 年 6 月 2 日（日）10～14 時 天気：曇りのち晴れ

場 所：八柱駅～八柱霊園（松戸市）

参加者：一般 34 名 指導員 18 名

担当指導員：草野幸子 田中玉枝 日野原純子

例年より早めの梅雨入りで天候が危ぶまれましたが、爽やかな新緑の中、松戸市の八柱駅付近の白髭神社～徳蔵院から八柱霊園へと散策しながら、家紋に取り入れられた植物を中心に観察し、その植物が家紋に取り入れられた訳や人々の暮らしとのつながり、家紋は植物のどの部分を抽象化したものかなどを考えてみました。

始めに家紋についてその歴史や使われ方、主題になったのは植物が多いことなどを簡単に説明し、観察に入りました。白髭神社ではスギ、イチョウを観察し、樹木としての特徴をとらえることや、信仰との結びつき、家紋に取り入れられた訳などを考えました。他にはスダジイ、アカガシ、サカキ、ヒサカキを観察しました。

徳蔵院では家紋として良く知られているキリとツタを観察しました。また家紋のデザインとしての美しさや、キリとアオギリとの違いや、桐の花は 500 円硬貨に描かれていることを説明しました。他にはボダイジュ、ムクロジ、マキ、コウヤマキを観察しました。


八柱霊園ではマツ、タケ、カエデ、サクラ、カタバミ、オオバコなど家紋に使われた植物について樹形や花や葉、種子の様子を観察したり、人々の暮らしとの関係を考えたりしました。この霊園は広い敷地に樹木が多くまた良く手入れされていて、木々の美しい姿に、それを家紋として取り入れた先人の気持ちが伝わるようでした。また、アカマツとクロマツの葉をさわって違いをみたり、カエデの種子を飛ばしたり、カタバミで 10 円硬貨を磨いたり、ルーペでオオバコの花や種子を観察したり、桜の実を味わったりしました。他にはゴズイ、ピンオーク、サワグルミ、ハゼ、イヌシデ、クヌギ、ブタナなどの観察や、著名人のお墓をいくつか見学しました。

<参加者から感想>

- ①楽しかった。②家紋にかかわる多種多様な植物を観察できた。
- ③家紋と植物の関係も納得。④家紋のデザインの素晴らしさに感動！
- ⑤とても勉強になった。⑥これからも参加したい。
- ⑦これから自分の家の周りにも気が配れそうで元気が出た。
- ⑧カタバミなども大切にしたい。等々がありました。

担当者としてもこのテーマに取り組んで良かったと思いました。

昼食を含め午後までの時間設定をしたので、ゆっくり観察ができて良かったです。

 カタバミ紋	 キリ紋	 サクラ紋	 マツ紋	 カエデ紋	 スギ紋
 ツタ紋	 イチョウ紋	 オオバコ紋	 タケササ紋	 アゲハチョウ	 違いタカの羽